

学校等支援活動（ボランティア）についての案内

教職センターでは、児童生徒たちの教育を支援するボランティア活動を皆さんに案内しています。ボランティア応募の手順は、次のとおりです。

- 1 教職センターホームページ・峰キャンパス8号館A棟1階の掲示板を見て、活動したい学校等や活動したい内容を決め、次のものを教職センターに持参し、応募します。

①「応募用紙」 ②「口座振込届出書」（押印あり） ③自分名義の「預金通帳」 ④スマホ等

※上記①・②は、峰キャンパス8号館A棟1階掲示板にあります。必要事項を記入しておくこと。

掲示以外に希望する学校があれば、教職センターの担当者に相談してください。

教育学部以外の学生は担任の教員に内諾を得てください。

- 2 教職センターの担当者から、学校等に受け入れが可能かどうかを確認し、紹介してもらう。
- 3 取り次がれた学校等の担当者と活動日や活動内容を確認し、打ち合わせ日を決めたり、自分の連絡先を伝えたりする。その際、約束したことをメモします。
- 4 次の宛先にメールを送信し、メールアドレスを登録します。（諸連絡に必要となります。）

【宛先】 kyosyoku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

【件名】 氏名

【本文】 氏名 学部 分野・学科等 学年

※その後、アドレスを変更した場合は、教職センターの担当者に必ず伝えること。

- 5 活動を記録する「スクサポ手帳」に必要事項を記入し、使い方を確認します。
「活動内容」は本人が記入し、「学校印・担当者印・謝金や交通費の有無」は従事先の担当者に記載してもらいます。なお、「スクサポ手帳」は12月～1月中旬に教職センターに必ず提出すること。

- 6 「口座振込届出書」と「預金通帳」を確認します。

★ 5・6は「峰が丘地域貢献ファンド」への活動費補助金申請に必要なものです。

- 7 宇都宮市で活動する場合は、宇都宮市教育委員会から「宇都宮市U・Uサポーター」に委嘱され、委嘱状が交付されます。

- 8 「ボランティア活動を行うに当たっての注意」（裏面）をしっかりと読み、実りあるボランティア活動にしましょう。

ボランティア活動を行うに当たっての注意

学校等支援ボランティアは、学生が学校現場における児童生徒の実態や教員の職務についてより深く知ることができ、教員としての実践的指導力の基礎を培っていく上でたいへん有効なものです。また、学生が自らの教員としての適格性を把握するための機会ともなっています。

次のようなことに気をつけて、積極的に取り組みましょう。

- ① 笑顔で明るくあいさつしましょう。
- ② 時間を守りましょう。やむを得ない事情等で、予定の時間に間に合わない時や行けなくなってしまった場合は、速やかに従事先に連絡を入れること。
- ③ 学校等でのふさわしい頭髪や服装に整えましょう。
- ④ ボランティアでも、児童生徒にとっては先生です。「先生」という気持ちで児童生徒に接し、言動に注意しましょう。
- ⑤ 児童生徒の人格を尊重し、熱意と愛情を持ち、公正な態度で接しましょう。
- ⑥ 丁寧な言葉遣いでわかりやすく話しましょう。
- ⑦ 叱るよりも褒めるように心がけましょう。体罰は厳禁です。
- ⑧ 学校等の教育方針や指導方針を理解し、それに沿って活動しましょう。
- ⑨ 活動内容の打ち合わせを密にし、わからない点は教職員等に確認しましょう。
- ⑩ 学校等や教職員、児童生徒やその家庭について知り得た秘密を漏らしてはいけません。
- ⑪ 失敗を恐れず、また無理なく取り組み、児童生徒から学ぼうという気持ちで活動しましょう。
- ⑫ ボランティアをやめる時には、その旨を従事先の担当の先生に必ず連絡すること。
- ⑬ 活動終了後、すみやかにスクサポ手帳を教職センターに提出すること。なお、教育学部以外の学生は担任の先生にも連絡すること。

従 事 先	
従事先電話番号	
担 当 者	

宇都宮大学教職センター 地域連携部門

(通称：スクールサポートセンター)

〒321-8505 宇都宮市峰町350 TEL：028-649-5272